諸 報(Report)

第9回日本LCA学会研究発表会報告(確報)

第9回日本LCA学会研究発表会実行委員会

Conference Report on the 9th Meeting of the Institute of Life Cycle Assessment, Japan
(Definite Report)

Executive Committee of the 9th Meeting of the Institute of Life Cycle Assessment, Japan

1. はじめに

第9回日本LCA学会研究発表会は、平成26年3月4日(火)～6日(木)の3日間、芝浦工業大学豊洲キャンパスで開催された。発表件数や参加者数など概要および基調講演と一般講演(口頭発表・ポスター発表)の様子は、前号の速報にて報告した。確報ではアンケート集計結果を報告するとともに、次回研究発表会の会場を紹介する。

2. アンケート結果

研究発表会参加者に配布したアンケートの質問項目と回答集計結果を、表1にまとめる。参考として過去7回(第2～8回)のアンケート結果も併記した。

第9回では、開催地が都内で交通の便も良いことから、開催地への満足度は高い一方、朝9時開始については「早い」とする回答も比較的多かった。開催時期については、

表1 アンケート集計結果の推移

質問項目	肯定的な回答の比率※							
	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回
開催地	93%	77%	72%	73%	72%	56%	50%	93%
開催時期	75%	82%	88%	86%	79%	86%	73%	88%
開催期間	70%	78%	89%	86%	92%	90%	93%	95%
開始時間						79%	80%	74%
演題登録時期	73%	71%	61%	83%	74%	81%	86%	73%
演題登録期間	92%	96%	91%	92%	86%	96%	100%	90%
要旨提出時期	81%	73%	68%	85%	80%	79%	76%	63%
要旨提出期間	97%	96%	86%	90%	89%	91%	86%	86%
登録手順	96%	81%	84%	89%	88%	92%	97%	90%
発表形式	93%	99%	98%	97%	97%	97%	100%	97%
ダブルエントリー		100%	98%	94%	94%	95%	97%	99%
口頭・発表時間	87%	99%	85%	86%	81%	85%	74%	70%
口頭・質疑応答時間	83%	86%	84%	78%	79%	82%	87%	69%
パラレルセッションの数	96%	85%	85%	75%	94%	85%	97%	96%
口頭・会場	75%	86%	59%	87%	96%	85%	97%	95%
ポスター・発表件数			90%	86%	72%	84%	78%	79%
ポスター・セッション時間	76%	79%	76%	69%	78%	80%	86%	78%
ポスター・時間配置	77%	97%	93%	84%	90%	91%	91%	93%
ポスター・会場	34%	77%	74%	87%	78%	91%	65%	92%
基調講演・内容	66%	60%	83%	91%	94%		95%	87%
基調講演・人数	79%	83%	76%	76%	98%		100%	95%
基調講演・時間	92%	77%	81%	83%	79%		77%	79%
基調講演・時間配置	85%	88%	87%	91%	88%		100%	97%
交流会・内容	94%	96%	87%	97%	98%	93%	96%	93%
交流会・時間	84%	96%	89%	91%	83%	93%	96%	91%
交流会・日程			85%					
交流会・開始時間	89%	90%	92%	94%	94%	88%	100%	88%
交流会・会場	21%	77%	92%	100%	79%	98%	93%	93%
オープニング不実施						88%		
基調講演不実施						75%		
参加費	65%	69%	73%	64%	77%	75%	78%	69%
要旨の形式	88%	92%	92%	86%	78%	94%	100%	89%
学生発表表彰	92%	84%	89%	74%	83%	83%	92%	96%
次回発表・聴講意向	89%	77%	100%	82%	85%	85%	83%	85%

※ 「行きやすい」「適当」「有意義」「やや有意義」と回答したもの

多くの参加者が「適当」としたものの、年度末の開催であることから「多忙な時期である」「研究費が支出しにくい時期である」といった指摘があった。

口頭発表・ポスター発表については、おおむね満足度は高かった。一方で、口頭発表では第8回より発表時間12分・質疑応答7分としていることについて、肯定的な回答が第8回に続きやや低かった。これは発表時間が「短い」とする意見による。今後の傾向によっては対応を検討したい。ポスター発表では、「ポスターセッションを3日間通して実施して欲しい」という意見も複数あった。

基調講演に関しては、いずれもおおむね肯定的な回答を得た。次回以降基調講演で聴講したい内容としては、「環境情報開示の消費者への影響」「LCIA」「再生可能エネルギー」「木質資源のリサイクル」などが挙げられた。

次回以降の日本LCA学会研究発表会に期待する分野・内容・キーワードなどとしては、「LCA学会の10周年を振り返るような企画」「イベントのLCA(2020年オリンピックのために)」といった学会内外での節目・イベントに関わる企画に加えて、「資源制約」「再生可能エネルギー」「環境教育」「建築、社会基盤、ストック」「インパクト評価」「S-LCA、CFP」「企業での活用」「製品による環境貢献量の評価」「ウォーターフットプリント、水処理」「地域、システム」「ライフスタイル」など、現在LCA分野で盛んに議論・研究がおこなわれているテーマが挙げられ、時宜にかなった募集テーマの重要性を感じさせた。

その他、要旨については「USB希望」「CD-ROMを全員に配布する必要はない」「Web配布のみで良い」などの要望・指摘があった。また、「来年度の研究発表会の時期・場所を早く公開してほしい」という意見があったため、早速、今回の発表会ウェブサイトにて次回発表会の開催情報を掲載している。

今後、研究発表会をより魅力的な発表・情報収集の場として提供していくため、アンケートで寄せられた回答・意見をもとに討議をおこない、次回に向けて準備を進めたい。

(吉川直樹)

3. おわりに

第9回日本LCA学会研究発表会は、再び東京での開催となった。利便性の高い会場であったため参加者数も増加し、過去4番目を記録した。今回は、インパクト評価、特にLIME 3のセッションと、ライフスタイルなど消費者に近いセッションの聴講者数が多く、社会で実践できるLCAが望まれていることを伺えた。また、各セッションではいずれも議論が活発におこなわれ、本研究発表会は、国内のLCA関係者が集える場を提供する、という意味でも意義深いことが再確認された。

第10回研究発表会は、平成27年3月9日(月)～11日(水)の3日間、神戸市灘区の神戸大学・六甲台第1キャンパスで開催される。キャンパスへは、新幹線新神戸駅や新大阪駅、神戸空港や大阪国際空港から、およそ1時間～1時間半程度でたどり着くことができる。同キャンパスは六甲山のふもとにあるため、電車の最寄り駅であるJR六甲道駅もしくは阪急六甲駅からは、バスかタクシーを使う必要がある。しかし、キャンパスからは、日本三大夜景の一つに数えられている神戸市内の景観を楽しめる。会場となる六甲台本館は、旧神戸商業大学の本館として使用されていた建物であり、国の登録有形文化財に指定されている。神戸大学の歴史を存分に感じつつ、活発な議論がおこなわれることを期待している。なお、三宮周辺はホテル数が十分ではないため、神戸市内で宿泊される場合は、早めに予約する必要がある。

最後に、会場でさまざまな作業を担当した芝浦工業大学や東京大学の学生アルバイトの皆様、開催準備から研究発表会当日までさまざまな対応をされた学会事務局の皆様には、多大な尽力を頂きました。この場を借りて改めて感謝いたします。